

| 日 曜 | | 6月の予定 | |
|-----|---|---|--|
| 1 | 火 | 新体力テスト(1・6年)(3・5年) | |
| 2 | 水 | 開港記念日 | |
| 3 | 木 | 新体力テスト(2・4年)(予備) 6年生リーダー会議【オリエンテーリング】〔中休〕 | |
| 4 | 金 | クラブ時程 代かき(3・4年)〔9:20〕 肥料まき(職員)〔9:20〕 新体力テスト(予備) クラブ活動 個人懇談【希望調査締切】 | |
| 5 | 土 | | |
| 6 | 日 | | |
| 7 | 月 | 代かき・肥料まき予備 | |
| 8 | 火 | 朝会 きょうだいG打合せ【オリ】〔2校時〕 | |
| 9 | 水 | 特別5校時 南本オリエンテーリング(全校)[南本宿公園] ※給食なし・弁当持参 | |
| 10 | 木 | 朝読書 苗取り(3年)〔9:00〕 田植え(5・6年)〔10:00〕 歯科検診(全学年)〔8:45～〕 | |
| 11 | 金 | 代表委員会 苗取り・田植え予備 | |
| 12 | 土 | | |
| 13 | 日 | | |
| 14 | 月 | 個人懇談【予定表配付】 心電図(1年、未受診者)〔9:30～11:30〕 | |
| 15 | 火 | 通常4校時(給食有) 朝会 | |
| 16 | 水 | | |
| 17 | 木 | 朝読書 苗直し(P・職員)〔9:20〕 耳鼻科検診(1・4年・希望者)〔8:50〕 めばえ寄席鑑賞会(5・6年)〔5・6校時〕 | |
| 18 | 金 | クラブ時程 苗直し予備 クラブ活動【卒業写真】 | |
| 19 | 土 | | |
| 20 | 日 | | |
| 21 | 月 | | |
| 22 | 火 | 朝会【スピーチコンテスト】 | |
| 23 | 水 | 旭区スピーチコンテスト【旭公会堂】 | |
| 24 | 木 | 朝読書 通常4校時(給食有) 重点授業研(6-2)5校時 | |
| 25 | 金 | 委員会活動(7月分)【卒業写真】 | |
| 26 | 土 | | |
| 27 | 日 | | |
| 28 | 月 | 全校草取り〔8:30〕 | |
| 29 | 火 | 朝会 | |
| 30 | 水 | オリエンテーリング予備〔南本宿公園〕 ※実施に関わらず給食あり(弁当なし) | |

◇7・8月の主な予定◇

| | | |
|---------|---|---|
| 1 | 木 | 特別5校時 朝読書 個人懇談① |
| 2 | 金 | クラブ時程 クラブ活動 【卒業写真】 |
| 5 | 月 | 特別5校時 個人懇談② 避難訓練【不審者侵入】 |
| 6 | 火 | 特別5校時 音楽朝会 個人懇談③ |
| 9 | 金 | 代表委員会 |
| 10 | 土 | 通常4校時・給食あり 学校参観〔代休7/12〕 |
| 12 | 月 | 7/10代休 |
| 13 | 火 | 特別5校時 個人懇談④ 大掃除週間〔16迄〕 |
| 14 | 水 | 田の草取り(P・職)〔9:20〕 →見学(5年) |
| 15 | 木 | 特別5校時 集会【KG委】 田の草取り予備 個人懇談⑤ |
| 19 | 月 | 通常4校時 給食最終日 |
| 20 | 火 | 短縮4校時 修学旅行保護者説明会(6年) |
| 21 | 水 | 短縮4校時 朝会⑦【休業前】 |
| 22 | 木 | 海の日 |
| 23 | 金 | スポーツの日 |
| 26 | 月 | 夏季休業〔8/26(木)迄〕 夏季休業<7/26～8/26まで> 閉庁期間予定<8/3～16まで> |
| 8/27(金) | | 授業開始 |

※ 予定ですので、日時等が変更になる場合もあることをご承知おきください。

◆心電図の日程について◆

心電図は6月14日(月)に決まりました。確認をお願いします。

◆教育実習について◆

5月31日(月)～6月25日(金)に5-2で教育実習を行います。よろしくお祈りします。

◆新体力テストについて◆

今年度は感染症対策のため、実施種目を絞って行います。例年と違い、屋外で行う種目は、そのまま例年と比較できない場合が想定されます。ご承知おきください。

◆学校参観◆7月10日(土)

詳しくは後日配付のプリントをご覧ください。ケータイ安全教室もいくつかの学年で行う予定です。

◆体育着への着替えについて◆

本校では全学年、教室の真ん中にカーテンが設置されており、男女別の場所で着替えを行っています。また、体育着着用時には基本として「汗で肌着が濡れるのを防ぐ」目的で肌着を脱ぐようにしています。(高学年女子などの場合には判断を任せています。低学年では自分で判断が難しい場合があるので脱ぐように声をかけることが多いです。)学年に関わらず肌着の上から体育着を着る場合には、ご家庭で判断いただき、替えの肌着を持たせてくださるようお願いいたします。

◆COC00(コクー)での欠席連絡について◆

COC00(コクー)を使った学校への欠席連絡が今年度から始まっています。まだ登録がお済みでない場合には登録をお願いします。運用の詳細は、近日中にお知らせします。

◆校内重点研究会◆

本校では、周りの人々と環境に積極的に関わり、持続可能な社会のために自分の考えを進んで表現できる子どもの育成を目指して、校内授業研究会を行っています。

6月24日(木)5校時には6-2で研究授業を行います。(6-2は14:30下校)授業を行わないクラスは4時間授業で13:20に下校します。クラスによって下校時刻が異なりますので確認をお願いします。



学校だより

令和3年 5月28日
横浜市立南本宿小学校
校長 西尾 琢郎
No. 545



「多様性」と「ふつう」の狭間で

校長 西尾 琢郎

令和3年度も早3ヶ月目に入ります。このところ、何を書いても、どうしてもコロナの話に繋がってしまいがちでしたが、今月は少し目線を変えて、学校や教育における「多様性」の大切さについてお伝えしたいと思います。

多様性という言葉が広く使われるようになってから、もう随分経ちますが、いまだにその意味や重要性が十分に知られていないとは言えないように感じています。

学校の中での多様性とは何でしょうか。一番分かりやすいところでは、性別や身長体重など、身体的な多様性かもしれませんが、教科や食べものの好き嫌いなど、嗜好の違いもあるでしょう。一方、最近話題に上ることが多いのは、さまざまな形で外国につながる子どもたちや、発達上さまざまな特性を持った子どもたちの存在、さらにはLGBTQと呼ばれる性的な面での多様性かもしれません。いずれもとても大切で、必ず尊重されなくてはならない多様性の姿です。

しかし、実はもっと大切で普遍的な「多様性」が存在します。それは、子どもたち一人ひとりの「学びのスタイル」です。同じこと、同じものを見聞きしても、人によって受け止め方は異なります。これは比喩的な意味ではなく、本当にそうなのです。ですから当然、ある一つのことを身に付けようとする際にも、その子なりに適した方法は一人ひとり異なってきます。よく言われる「視覚優位」「聴覚優位」などはその際立った例ですが、極端でないまでも、言葉から筋道を立てて学ぶのが適した子、具体物を操りながら思考するのが適した子などなど、同じ一つの手立てではなく、それぞれに適した手立てをとることで、より楽しく、より深く学ぶことができるようになるのです。

知能指数(IQ)と呼ばれる知的レベルの物差しがありますが、現在ではひとつの物差しだけで人の能力を量ることに無理があると考えられるようになりました。そうした考えの一つが「MI(マルチプル・インテリジェンス)」です。人には認知や脳のはたらきと密接に関連して「言語的知能」「論理・数学的知能」「空間的知能」「音楽的知能」「身体運動的知能」など、8つの異なる知的能力が備わっており、その各々の力を見取りながら、適した学びのスタイルを見いだすことで、その人の力を最大限に引き出すことができる、という考え方です。

長い間、学校では「多様性」よりも「共通性」や「統一性」が重んじられてきました。もともと多様性に富んだ存在である子どもたちを矯め直し、刈り揃えて、まるで規格品のような「社会で役立つ人材」を生み出すことが求められてきたと言えるのかも知れません。

しかし、時代は変わりました。これからの学校は、子どもたちがそれぞれ違った形で持つ可能性の芽を、できる限り伸ばし育てて行くことを大切にしなければなりません。教育の目標は、子どもたち一人ひとりが、幸せな人生を歩むことのできる力を育むことです。

そのためには、子どもたち一人ひとりの違いを前提とし、またそれを尊重しながら、多様な学び方が認められていく必要があるでしょう。スタートしたばかりのGIGAスクール構想も、コンピューターを使ったり、プログラミングを行ったりすることだけが目的ではなく、それらを通して、子どもたちが自分なりのやり方で学んでいく術を身に付けることを目指したものです。皆が同じ機材を手にしても、それをどう活かすかは、一人ひとり違っていい。そのための1人1台です。そしてまた「かがやきルーム」での特別支援や、個別支援学級での指導も、一つだけの物差しで測った子どもの優劣などとは関係なく、その子に適した場や方法、ペースに寄り添った学びを提供するためのものです。その子を中心に置き、その子の力を最大限引き出すための手立てと捉えていただきたいと思います。

私たちに誰かが心のどこかで「ふつう」を良しとする思いを抱きがちです。それは長きに渡る学校教育の生んだ、一つの結果かもしれません。ですがここまで見てきたように、今や「ふつう」というのは、ある種の幻想なのではないかと私は感じています。言い方を変えれば、その人にとっての「ふつう」は、その人だけのものであるとも言えるでしょう。

学校は集団で過ごし、集団で学ぶ場ですから、さまざまなことが「最大公約数」を採って行われるのはやむを得ない面があります。ですがそのことが、一人ひとりの可能性を「最小公倍数」の枠内に、無理矢理閉じ込めるようなものであってはならないと思います。大変難しい取り組みですが、私たちはそのための工夫を、あきらめずに重ねていきたいと考えています。どうか皆さまのご理解とご協力を、よろしくお願いいたします。

スクールカウンセラーの岩本園生先生の6月の来校予定です。ご相談のある方は、養護教諭までご連絡ください。
・6月 3日(木)午後 ・6月10日(木)午前 ・6月17日(木)午後 ・6月24日(木)午前

◆水泳学習・区水泳大会について◆

今年度は、感染症対策として小学校入学後に水泳学習(実技)を行っていない1・2年生のみ行います(クラス単位での実施)。保護者の皆様には別紙でもお知らせします。なお、区水泳大会は中止になりました。

◆水筒について◆

6月に入り、暑い時期になります。すぐに水分補給ができるように水筒を忘れず学校へ持たせてください。屋外での活動の際にも、持っていくことが多くあります。

5月 若葉を揺らす青嵐

芽生えと伐採

子どもからおとなまで、まちの人たちの憩いの場となっている南本宿公園。その奥に、昼なお暗い森がある…正確には、あったことをご存知でしょうか。

そこは谷のどんづまりで、もともと日陰になっているうえに、シラカシやシロダモなどの常緑樹がうっそうと茂って、日ざしをさえぎっていました。遊歩道はありますが、一人で歩くにはちょっと勇気がいります。

ところが先日、久しぶりに行ってみると、それらの木々は切り倒され、谷はすっかり明るくなっていました。一変した雰囲気には戸惑いましたが、ふと地面を見ると、あちこちに小さな芽生えがあります。それは、どんぐりから発芽したばかりのコナラでした。

コナラは毎年たくさんのどんぐりを実らせますが、暗い森の中では芽が出ても育ちません。それが、伐採されたことで光が届くようになり、一気に葉を広げて伸びようとしているのです。

森の木はいろいろな動物のすみかや餌となり、下生えの草木を風雨から守っています。しかし、光をさえぎって、芽生えの成長を妨げる側面もあります。伸びようとする芽を摘まないように、さしのべた手をちょっと引っこめてみることも、時には必要なのではないのでしょうか。



5月17日(月)はまっこ交通安全教室(1・4年)

<1年>

道路の安全な歩き方について、交通安全協会と旭警察署の方々に詳しく教えていただきました。

信号の話では、横断歩道を渡っている途中で青が点滅してしまった時、渡り切るのか引き返して戻るのか、今までの経験を振り返りながら考えました。また、横断歩道をどのようにして渡ると安全なのか、実際に教えてもらったことをその場で体験することができました。

<4年>

4年生は安全な自転車の乗り方について教えていただきました。『ブタハシャベル』を合言葉に自転車の点検をすることや、自転車は車の仲間なので左側通行であることなどを学びました。子どもたちは自分の生活を振り返り、交通ルールを守って安全に自転車に乗ろうと、思いを新たにしていました。



野菜の植え付け(4・5組)

例年より春の訪れが早かったので、4・5組の野菜づくりも一足早いスタートです。

去年と同じく、花壇ではキュウリやナス、ミニトマト。教室前の細長いスペースには、ピーマンとサツマイモを植えました。サツマイモはつるを切って土に挿しただけなのに、しっかり根付きました。夏から秋にかけての収穫を楽しみにしながら、子どもたちは水やりに余念がありません。



4月26日(月)GIGAスクール開校式(5年)

ついに一人一台端末の貸与が始まりました。本校の高学年では、GIGAスクール実行委員を立ち上げ、他学年に教えに行くなど、子どもたち同士でともに学んでいく姿が見られています。今後も新しく手に入れた道具を、正しく、よりよく活用できるように、子どもたちと一緒に使い方などを話し合っていきます。



5月14日(金)まちたんけん(3年)

社会科の学習「わたしたちのまち」の一環で、「まちたんけん」に出かけました。子どもたちは、屋上から気になるものを見つけ、予想を立て、探検に行くことで自分の予想通りなのか、はたまた予想とは違うものなのか、自分の目で確かめました。緑の多いこのまちを、さらに好きになるきっかけになりました。



5月18日(火)芸術鑑賞ワークショップ(6年)

6月17日(木)に行われる「めばえ寄席」の芸術鑑賞会をより楽しむために、落語に親しむワークショップを実施しました。噺家さんの進行のもと、有名な「寿限無」の演目を聞いたり、演芸場の様子の動画を見たりするうちに、子どもたちも少しずつ古典芸能の世界に引き込まれていきました。「寄席文字」を実際に書く体験や、出囃子の練習などもあり、来月の寄席本番に向けて期待は高まっているようでした。



